恋ぬ花（越ヌ頂節）

本調子

工	五	工、尺	上	四	老尺	合	合尺	工	尺	工	○
											にわ や ゆ

工	五	工	尺	工	尺	工	上	四	老	上	合
											ちふゆ い ん みや は

上	尺	工	五	工	尺	上	○	上、四	老	上	合
											な さ ちゅ い ん

上	老	合	老	上	尺	工	五	尺	工	工	老
											ぞが ふ ちゅく る や ま

上	尺	工	上	四	老	合	○	合	老尺	合	○
											ふぇ どぅ ふ ちゅ る ん

合	老	合	老	上	尺	工	五	尺	工	工	老
											ぞが ふ ちゅく る や ま

上	尺	工	上	四	老	合	○	工	五	工、尺	上
											ふぇ どぅ ふ ちゅ る

四	老尺	合									
											○

一、庭や雪降ゆい　梅や花咲ちゅい
無蔵が懐や　真南風ど吹ちゅる

二、ぬがし我が庭や　梅や咲かなそて
毎夜鶯の　通て鳴ちゅが

三、波の上に行ちゅみ　薬師堂に行ちゅみ
なりし薬師堂や　ましやあらに